



坂本あずまお 区政レポート

2014年夏、暑さをゴーヤパワーで元気に乗り切る!

あっという間に半年が過ぎ、夏から秋のお祭りシーズンへと季節が巡ってゆきました。視察やお祭りなどイベント盛りだくさんの日が続きましたが、夏の暑さも吹き飛ばしてしまうほど活気あふれるお祭りが各地で行われ、あずまお議員も阿波踊りや里神楽をはじめ、地域のお祭りに参加して元気を沢山もらいました。そんな暑いあずまお議員の近況報告レポートをお届けします。

視察報告

7月 気仙沼市・札幌市

7月9日、宮城県気仙沼市を視察しました。東京で災害が起こった場合の土地境界線に関する問題は相当なものになると想定されます。その対策を勉強するために訪れました。現地では、震災による地盤沈下や隆起で、津波に流された家屋の土地の境界線や杭が分からなくなり、復旧の妨げになっているそうです。また、震災直後の復旧に一番必要なのは、瓦礫を置く場所の確保だと学びました。これは都市計画・区の計画でも盲点となりえます。学んだことをしっかり区政に取り入れて参ります。



7月14日には北海道を訪れ、札幌市シティプロモート政策の視察をしました。「いたばし魅力発信担当課」が今年からスタートしたことによる視察で、知名度も予算もない中で、何を目的とするのかを明確にしてゆかなければならない。そのためには、足し算でなく掛け算の庁内連携が第一歩ではないかと考えました。

中川まさはる参議院議員と対談

10月2日(木)

自民党東京都連青年部広報委員の一人として10月2日、中川まさはる参議院議員を訪問、「日本の財政構造と社会保障～これからの社会と若い世代への期待～」をテーマに対談させていただきました。



あずまお議員は、「国の将来に対して夢が無いと思っている若い世代がたくさんいるなかで、生活レベルの低下に不安もあります。持続可能な社会の実現に向け、若い世代は何をどうすべきだと思いますか?」と質問。それに対し中川議員は、「若い人達には、自分たちの力で、人生を切り拓き、国際競争を勝ち抜き、東京を世界一の都市にしよう、日本をもっともっと輝く国にしようという気概を持って頑張ってもらいたい」とお答えくださいました。中川先生、大変お忙しいなかどうもありがとうございました。

対談の様子は下記に掲載されています。ぜひご覧ください。

<中川まさはる議員ホームページ>

<http://www.nakagawa-masaharu.jp/report/26/1002zadankai.html>

納涼の集い『ゴーヤ収穫祭・2014』盛大に

8月30日(土)

ゴーヤを育てて町の緑化を推進する『緑のカーテン・ゴーヤプロジェクト』。その報告を兼ねた『ゴーヤ収穫祭・2014』が、8月30日(土)ホテルカデンツァ光が丘で開催されました。



第一部では、下村博文文部科学大臣、丸川珠代参議院議員、河野ゆうき都議会議員がお忙しいなか駆けつけてくださり、エールを送ってくださるとともに、引き続き行われたあずまお議員による緑のカーテンレポートならびに上半期区政報告を最後まで熱心に聞いてくださいました。



第二部では、地域で収穫したゴーヤを使ったお料理を堪能しました。ゴーヤのビシソワーズ・ゴーヤチャンプルー・ゴーヤのシャーベットなどみなさん大変満足されていました。

その後、ものまねアスリート芸人のM高史さんによるスペシャルライブが行われ、にぎやかで楽しい歌の数々が披露してくださいました。最後は、司会を務めた吉木誉絵さんをはじめ参加者全員で「幸せなら手をたたこう」を歌って盛り上がり、ライブを締めくくりました。会場には、地域にできた緑のカーテンやゴーヤの写真がパネルで展示されました。今年は雨が多かったことで、カーテンやゴーヤの成長があまり良くない傾向にありましたが、地域の方々が一生懸命に取り組んでくださることで、8年間も続けることができました。ぜひ来年もまた緑のカーテンによる環境保全活動にご協力をお願いいたします。



今、私は赤塚二中の周辺地域の方々と一緒に防災マップまち歩きを行っています。これは、平成25年から始まった地域別防災マニュアル作成の一環で、板橋区内18地域センターごとに3年に分けて順番に作っていくものの、下準備の取り組みです。成増、下赤塚、徳丸の各地域センターでは平成27年4月から正式に始まります。

しかしながら、先発した地域のマニュアルは残念ながら荒川・新河岸川沿いの水害、木造密集地域の火事、といった『地域別』の特徴をとらえたものとはなりませんでした。

何点か原因があります。まずは、まち歩きによる地図の作り方・進め方を地域の皆さんがよく分からないままコンサルタントの言うままになっていたこと。次に、暮らしている皆さんが『どんな災害が一番起こりそうで、一番恐いか』を知って

いるはずなのに、その声をちゃんと聞かなかったこと。などが挙げられます。

相当な予算がついて取り組む事業です。どうせ作るのなら、しっかりとしたもの、意義のあることを行って、意味のあるものを作らないといけません。

この町に生まれ育ってうん十年、のおじさんでも初めて通る階段があったり、消防団員でも知らない水利があったりと、災害のことを考えながらまち歩きをする道は、とても新たな発見に溢れています。

世代を超えて、ともにまちを歩く。新しい視点で、いつもの道をすすむ。町の「見える化」とは、災害の予測も防災の対策も、ステキな将来像も、歩いてこそ見えてくるものだと思います。

第9回里神楽の夕べで子供囃子デビュー

6月27日、第9回里神楽の夕べが成増アクトホールで開催され、昨年より「寺子屋教室」を通じてお囃子の稽古に励んできた子供たちが初舞台をふみました。子供囃子とあ



ずまお議員の寿獅子舞の共演は、初めてと思えぬほど堂々とした演奏で大成功に終わりました。未来を担う伝統文化の継承者達。今後の成長が楽しみです。

成増阿波おどり・板橋区民まつりにも参加

8月7日に開催された『第31回 成増阿波おどり大会』、そして、10月18・19日に開催された第43回板橋区民まつりにおいても、あずまお議員は成増連のお囃子で参加しました。たくさんのご声援、ありがとうございました。



成増天神まつり にぎやかに開催される

『成増天神まつり』が10月25・26日の二日間にわたり開催されました。これは二年に一度、菅原神社の大祭として行われている地元のお祭で、気持ちの良い秋晴れに恵まれた週末、子供から大人までたくさんの方で賑わいました。元気な掛け声とともに神社を出発した山車やお神輿は、町中を巡行。神社境内にある神楽殿では、里神楽、お囃



子、獅子舞のほか、民謡や歌謡ショーも行われました。あずまお議員は、真新しい大人神輿を先頭で担ぎ、「祭り」の醍醐味を存分に満喫しました。

今年の見どころは、何ととっても成増里神楽保存会の指導のもと練習を重ねてきた子供たちによる祭り囃子の演奏です。保存会会長坂本恒男氏(あずまおの父)の手作りで、このたびお披露目されたお囃子用の真っ赤なかわいい山車「天神号」に乗り、子供たちが笛や太鼓を楽しそうに演奏しました。

